

ニュースを読者に 分かりやすく伝える方法



みなさんは普段、自分が初めて見聞きした事を
周囲の人に伝えるとき、**どのように**伝えますか？

例えば、スマートフォンのLINE（ライン）で友人に伝えるとき、いつ（when）、どこで（where）、誰が（who）、なぜ（why）、どのように（how）、何をしたか（what）という「5W1H」を意識的・無意識的に使っていると思います。

これは、新聞記事を書くときの基本中の基本で「本記」と呼ばれる記事です。ですが、これだけではなく、他にもさまざまな方法で伝えたいことを相手に伝わりやすいよう、多面的に書くことができるのです。記事のほか、視覚を訴える意味でビジュアルとして写真やグラフ、表や図解で出来事を分かりやすく伝える方法もあります。

新聞を意識して読んでみてもらうと分かると思います。今回は、新聞記事にはいろんな種類があることを、ここでご紹介いたします。例を挙げると分かりやすいと思いますので、私が過去に書いた記事を末尾に付けましたので、後ほど照らし合わせながら見てみてください。

（編集・制作：工藤恵）

新聞記事の種類

1

本記

取材した物事、出来事の事実を書いた主役となる記事

上記のように、いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように、何をしたかを伝える。その中で大事なのが冒頭の「リード」。このリードの書き方次第で、原稿の良しあしが決まる。ポイントは、一読して記事全体を要約したニュースの内容が分かること。結論→理由・目的→意義付けの順番で書くといい。大事なことから逆三角形で書く。リードが書ければ原稿の全体像が書けたということになり、後は結論の詳しい説明や、結論に至った経緯、関係者の見方や話を書き、本記を構成していく。リードの中から原稿のエッセンスとなる見出し

POINT

- ・何がどうした(結論)
- ・なぜそうなった(理由)
- ・だからなんだ(意義)

2

サイド

本記で書かなかった面白い話題を書いた脇役の記事

体験者や目撃者の話、現場の状況などを再現して、その物事の特異性や社会性を浮き彫りにする。例えば、ある人について書いたり、その人の思いを紹介したり一読み手の興味をわき起こす読み物となる。

POINT

ニュースのポイントを的確にとらえる目と冷静は判断力が必要。



3

雑観(ざっかん)

取材した現場を感じたことを臨場感を持って描く記事

色(目)、音(耳)、におい(鼻)、味(口)、かたい・やわらかい(肌)などの五感をフル活用して、記者の経験に基づいた記事を書く。読み手が、現場にあたかも居て頭の中でイメージできるような仕立てになる。

POINT

雑観にもリードと本文がある。前もって準備できる場合は、材料を探して盛り込むのも良いだろう。



4

解説

物事が起きたことを、記者が自分の考えを盛り込んで書いた記事

取材した物事、出来事が、どういう背景で起きて、社会にとってどういう意味を持っているのかを詳しく解説する、記者の考えが盛り込まれた記事。「なるほど、そういうことか」と読み手に気づいてもらえるような内容にする。

POINT

- ・「背景」型→「～した背景には～がある」
- ・「狙い」型→「～の狙いは～だ」
- ・「浮き彫り」型→「～したことで～が浮き彫りとなった」
- ・「疑問山積」型→「～したが、疑問は山積している」
- ・「焦点」型→「～したことで、これからは～が焦点になる」

5

とはもの

大切なキーワードについてくわしく説明した記事

「ズーム」「一口メモ」などの名称。

POINT

ニュースのポイントを的確にとらえる目と冷静は判断力が必要。

6

談話

取材した物事、出来事について詳しい内外の専門家に聞いた話をまとめた記事。

その物事や出来事に関わった人の話は「関係者談話」、客観的に専門家から聞いた話は「識者談話」と呼ぶ。

このように、多数の記事を組み合わせで紹介することで、初めて知る読者がより深く理解できるようになるという利点があります。

記事を書く上で大事なものは…



- 最初に結論
- 逆三角形で書く
- 自然な日本語を使う
- 1文は短く書く



国が貧しい家庭の子どもに向けた支援策を盛り込んだ文書を作成したという記事。

難しい内容のため、あの手この手でさまざまな種類の原稿を用意し、

「読者に分かりやすく」を心掛けました。



2014年8月29日配信

本記

子の貧困、学校拠点に支援 改善の数値目標示さず 政府、初の対策大綱

政府は29日の閣議で、貧しい家庭の子供の教育や生活を支援するため、初めて「子供の貧困対策大綱」を決定した。学校をプラットフォーム（拠点）と位置付け、福祉機関などと連携した総合的な支援体制を構築する。貧困率など25項目の統計データを「指標」に設定。その改善に向けて取り組むとしたが、数値目標は盛り込まなかった。

安倍晋三首相は閣議に先立つ会議で「全ての子供が夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指す」と強調した。

厚生労働省の調査では、子供の貧困率は2012年に16・3%と過去最悪。大綱は、子供の将来が生まれ育った家庭や地域に左右されることなく、貧困が世代を超えて連鎖しないよう「環境整備や教育の機会均等を図る」とした。

支援策として、教育、生活、保護者の就労、経済の4分野で重点施策を展開する。具体的には、スクールソーシャルワーカー（現在、全国に約千人）を増員。学校と福祉機関や児童相談所などとの連携を強化する。無利子の奨学金制度や、低所得世帯の高校生向け奨学給付金制度を充実させ、幼児教育無償化を段階的に進める。

このほか、ひとり親家庭が子育てと仕事を両立できるよう「就業支援専門員」を配置。困窮世帯の子供を対象に学習支援事業を実施し、高校中退者の就労を支援する。

25指標は貧困率のほか、生活保護世帯の子供の大学・専修学校進学率（現状は32・9%）、児童養護施設の子供の高卒後就職率（同69・8%）など。改善の数値目標は設けないが、重点施策の効果が上がっているかどうかの検証に役立て、約5年ごとに大綱を見直す。

政府は当初、返済義務のない「給付型奨学金」創設を大綱に盛り込むことを検討したが、財源のめどが立たず見送った。

今年1月施行の対策推進法で、大綱の策定が義務付けられていた。

メインサイド

学びの環境、格差生む スタートラインに立てず

進学夢を奪われる生徒。幼子を抱え、職探しもままならないシングルマザー。「子供の貧困」を取り巻く状況は年々深刻さを増している。「もっと目を向けて」。悲痛な声上がる。

「学びの環境によって、人に格差が生まれる」。関東地方に住む定時制高校4年の男性（19）は悔しさをにじませる。

両親の離婚後、7歳の時に母親が再婚した。新しい父親は非正規の仕事で、6畳一間の風呂なしアパートに家族4人暮らし。成績は良かったが、授業料の安い定時制しか選べなかった。授業は基礎的な内容が多く、物足りなさを感じている。

自治体から月額約2万円の奨学金を受け、カラオケ店のアルバイトで家計を支える。母親は最近再び離婚した。まだ小学生の妹の将来も、自分が支えなければならない。

来春の卒業を前に、アパレル関係の専門学校に進みたいと思ったが、経済的理由で断念した。学業のかたわらで就職活動の日々。目指すのは収入が安定した公務員だ。「財源に限りがあるのは分かるが、国はこの格差を解消してほしい」

教職員や生徒、支援者らでつくる「『お金がないと学校に行けないの?』首都圏高校生集会実行委員会」には、さまざまな事例が報告されている。給食の牛乳やパンを、妹や弟のために持ち帰る子。定時制の授業が終わった後、夜通し温泉施設の清掃をし、寝る間もなく次のバイトに向かう子。自身も働きながら定時制を卒業した 梅井忠（うめい・ただし）事務局長は「親の貧困は子供に原因がないのに、影響は直撃する。リストラも後を絶たず、事態は悪化している」と話す。

東京都内の女性（32）は夫の借金が原因で、長男（5）が生後8カ月の時に離婚。専業主婦から突然、収入ゼロのシングルマザーになった。「この子が巣立つまでの長い闘い。その場しのぎではなく、安定した収入を得たい」。1年近く勉強して簿記2級の資格を取った。しかし、残業や休日出勤ができないひとり親に優しい企業は少ない。

やっと採用された会社では風当たりが強く、長男の前で泣き明かしたこともある。昨年から税理士事務所で働き、ようやく月収は19万円ほどになった。保育料や家賃を払い、残りは将来の教育費の積み立てに回す。

ひとり親向けの就業支援制度などはあるが、すぐに自立した生活に結びつくとは思えない。働かなくても子供の預け先に苦勞し、養えるだけの収入が得られる仕事も少ないなど、取り巻く現状は厳しいからだ。「孤立無援でスタートラインにすら立てない親は多い。生活の道筋ができるように手を差し伸べてほしい」と力を込めた。

解説

問題改善見通せず 子供の貧困対策大綱

【解説】親から子への貧困の連鎖を断ち切ろうと、政府が「子供の貧困対策大綱」をまとめた。ただ、対策の大半は既存事業の寄せ集めに近い。大綱としてパッケージ化されたものの、貧困問題が実際に改善するのが見通せない内容となった。

6月には内閣府の有識者検討会が、ひとり親家庭に支給する児童扶養手当や遺族年金の拡充を提言していたが実現せず、数値目標も見送られた。

今や子供のほぼ6人に1人が貧困状態にある。特に、ひとり親世帯の貧困率は54・6%に達し、極めて深刻な状況だ。貧困家庭の多くは、親が仕事を掛け持ちして家を不在にしがち。子供だけで過ごす時間が長く、親子のコミュニケーションも減る傾向にある。

シングルマザーの当事者団体「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の 赤石千衣子（あかいし・ちえこ）理事長は「親が安定収入を得て労働時間を抑制することが大事。数値目標という見える形の目安が大綱に盛り込まれなかったのは、国の本気度が足りないからではないか」と指摘する。

安倍政権は人口減少に歯止めをかけるため「地方創生」に向けた取り組みを目指しているが、困難な生活に苦しみながらも日本の未来を担う子供たちに対し、確実に手厚いサポートが必要だ。

骨子

子供の貧困対策大綱骨子

「子供の貧困対策大綱」の骨子は次の通り。

- 一、貧困が世代を超えて連鎖しないよう環境整備を図る。
- 一、学校を拠点に福祉機関と連携した支援体制を構築する。
- 一、子供の貧困率など25の指標を設定し、改善に取り組む。数値目標は示さず。
- 一、無利子の奨学金制度の充実を図り、幼児教育の無償化を段階的に推進する。
- 一、大綱は約5年ごとに見直しを検討する。

ズーム

子供の貧困率

子供の貧困率 平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の子供の割合。厚生労働省が3年ごとに国民生活基礎調査で公表しており、2003年の13・7%から、06年は14・2%、09年は15・7%、12年は16・3%と増え続け、ほぼ6人に1人が貧困状態にある。経済協力開発機構（OECD）の調査では、加盟34カ国の10年時点の子供の貧困率の平均は13・3%。世界的に見ても日本の子供の置かれている環境が悪化していることが分かる。

関係者談話

残念だが一歩前進

大綱策定にかかわった内閣府の有識者検討会メンバーで、あしなが育英会奨学生の 高橋遼平（たかはし・りょうへい）さんの話 大綱に数値目標が盛り込まれず、非常に残念。だが、子供の貧困対策を継続的に進めていく上での前提を固めてもらいたかったので、一歩前進したという思いだ。大綱に盛り込まれなかった児童扶養手当や遺族年金の拡充、給付型奨学金は、実現するよう今後も主張していく。



学級新聞 を 作ってみよう！

本記

5W1Hを入れる

いつ	when
どこで	where
誰が	who
なぜ	why
どのように	how
何をしたら	what

2018年〇月×日 △△しんぶん

解説 記者の主観を入れて 物事について 意見を述べる	メーンとなる記事の 見出し イラスト	△△新聞 発行所 学校名 学年・組 氏名など
	写真	
取材をした感想	編集後記	雑観 現場に行つて 五感で感じたこと
質問して答えるやりとり	Q & A	